

令和5年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

一般・教職教養問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注 意

- 1 この問題は22問14ページで、時間は60分です。
- 2 解答用紙は、別紙で配布します。「始め」の合図で始めてください。
- 3 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 5 解答用紙を持ち出してはいけません。

1

次の(1)～(3)の心理発達に関する理論や説の名称を、下のa～fからそれぞれ一つずつ選び、記号で記せ。

- (1) エリクソンは、人生(ライフサイクル)を8段階に分け、発達課題と危機を示した。青年期の発達課題であるアイデンティティは、社会でも深く知られる概念である。
- (2) ピアジェは、感覚運動期、前操作期、具体的操作期、形式的操作期の4段階を経て子供は発達するとした。また、これらの段階は、同化と調節の2つの過程が均衡することで進むとした。
- (3) シュテルンは、発達には、単に個人の遺伝的・内的性質が漸次的に発現したものでもなければ、環境的・外的影響を受動的に受け入れた結果でもなく、両要因は常に、統合的に機能していると考えた。

- | | | |
|-----------|--------------|------------|
| a. 環境閾値説 | b. 心理社会的発達理論 | c. 社会的学習理論 |
| d. 発生的認識論 | e. 輻輳説 | f. 洞察説 |

2

次は、『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)』(令和3年1月、中央教育審議会)において示された、『3. 2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿 (2) 教職員の姿』の一部である。ア～ウにあてはまることばを、下のa～iからそれぞれ一つ選び、記号で記せ。

- 教師が技術の発達や新たなニーズなど学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて探究心を持ちつつ自律的かつ継続的に新しい知識・技能を学び続け、子供一人一人の学びを最大限に引き出す教師としての役割を果たしている。その際、子供の主体的な学びを支援する(ア)としての能力も備えている。
- 教員養成、採用、免許制度も含めた方策を通じ、多様な人材の教育界内外からの確保や教師の資質・能力の向上により、質の高い教職員集団が実現されるとともに、教師と、総務・財務等に通じる専門職である事務職員、それぞれの分野や組織運営等に専門性を有する多様な(イ)や専門スタッフ等とがチームとなり、個々の教職員がチームの一員として組織的・協働的に取り組む力を発揮しつつ、校長のリーダーシップの下、家庭や地域社会と連携しながら、共通の学校教育目標に向かって学校が運営されている。
- さらに、学校における働き方改革の実現や教職の魅力発信、新時代の学びを支える環境整備により、教師が創造的で魅力ある仕事であることが再認識され、教師を目指そうとする者が増加し、教師自身も志気を高め、(ウ)を持って働くことができている。

- | | | |
|---------|--------|---------|
| a. 指導者 | b. 自信 | c. 外部人材 |
| d. 地域人材 | e. 伴走者 | f. 希望 |
| g. 並走者 | h. 保護者 | i. 誇り |

3

次の(1)～(3)の()にあてはまる最も適当なものを、下のア～オからそれぞれ一つ選び、記号で記せ。

- (1) 17世紀のヨーロッパを生きたコメニウスは、個々の知識が適切に結びつけられた体系である汎知学を基にして、順序よく知識を授けていくことが大切になると考え、著書の『()』のなかで、一つの内容が確実に習得されてからその次の段階へ進んでいくことが提案されている。

ア. 教育学講義	イ. エミール	ウ. 大教授学
エ. 児童の世紀	オ. 一般教育学	

- (2) ()は、著書『教育の過程』のなかで、どの教科でも、知的性格をそのままにたもって、発達のどの段階のどの子供にも効果的に教えることができると述べ、学習者の発見的なプロセスが学習の主体性を喚起することに着目したその学習理論は、発見学習と呼ばれた。

ア. スキナー	イ. ブルーナー	ウ. パーカー
エ. デューイ	オ. キルパトリック	

- (3) 大正期の教育者である()は、児童の自己活動を尊重しつつ、様々な児童が集まる学級という組織を維持しながら、一斉教授、個別教授、グループ別の分団教授を児童の状態に合わせて使いわける分団式教育を実践し、『分団式動的教育法』を刊行した。

ア. 井上 毅	イ. 小原国芳	ウ. 木下竹次
エ. 小川未明	オ. 及川平治	

4

次は、小学校〈中学校・高等学校〉学習指導要領「第1章 総則」の一部である。ア～ウにあてはまることばを、下のa～iからそれぞれ一つ選び、記号で記せ。

※〈 〉内は中学校・高等学校学習指導要領による。

- 2 学校の教育活動を進めるに当たっては、各学校において、第3の1に示す主体的・対話的で深い学びの実現に向けた(ア)を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、次の(1)から(3)までに掲げる事項の実現を図り、児童〈生徒〉に(イ)を育むことを目指すものとする。

- (1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との(ウ)を促す教育の充実に努めること。その際、児童〈生徒〉の発達の段階を考慮して、児童〈生徒〉の言語活動など、学習の基盤をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、児童〈生徒〉の学習習慣が確立するよう配慮すること。

a. 学習指導	b. 対話	c. 生きる力	d. 授業実践	e. 協働
f. しなやかな心	g. 授業改善	h. 交流	i. 確かな学力	

5

次は、『令和2年度 文部科学白書』（令和3年7月）において示された「第1部 特集2 第3節」の一部である。ア～ウにあてはまることばを、下のa～iからそれぞれ一つ選び、記号で記せ。

(6) 遠隔・オンライン教育を含むICTを活用した学びの在り方について

○ 基本的な考え方

ICTはこれからの学校教育を支える（ア）的なツールとして必要不可欠であり、心身に及ぼす影響にも留意しつつ、日常的に活用できる環境整備が必要であることが示されています。ICTの活用自体が（イ）しないよう、教師と児童生徒との具体的関係の中で、教育効果を考えながら活用し、児童生徒の発達段階に応じて、教師が（ウ）と家庭や地域社会と連携した遠隔・オンライン教育とを使いこなす（ハイブリッド化）ことで、個別最適な学びと協働的な学びを展開することが必要であるとされています。

a. 目的化	b. 日常	c. 一斉指導
d. 基本	e. 対面指導	f. 固定化
g. 個別指導	h. 形式化	i. 基盤

6

次は、小学校〈中学校・高等学校〉学習指導要領「第6章〈第5章〉 特別活動」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。ア～ウにあてはまることばを記せ。

※ 〈 〉内は中学校・高等学校学習指導要領による。

1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(1) 特別活動の各活動及び学校行事を見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、児童〈生徒〉の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、よりよい（ア）の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己実現に資するよう、児童〈生徒〉が集団や社会の形成者としての（イ）を働かせ、様々な集団活動に自主的、（ウ）に取り組む中で、互いのよさや個性、多様な考えを認め合い、等しく合意形成に関わり役割を担うようにすることを重視すること。

7

次の(1)～(3)は、法規の条文の一部である。ア～ウにあてはまることばを、下のa～iからそれぞれ一つ選び、記号で記せ。

- (1) 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、(ア)の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

(教育基本法第2条5項)

- (2) 小学校は、文部科学大臣の定めるところにより当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その(イ)の向上に努めなければならない。

(学校教育法第42条)

- (3) 校長及び(ウ)が児童等に懲戒を加えるに当つては、児童等の心身の発達に应ずる等教育上必要な配慮をしなければならない。

(学校教育法施行規則第26条)

- | | | |
|-------|---------|----------|
| a. 教員 | b. 世界 | c. 教育委員会 |
| d. 自国 | e. 教育力 | f. 国際社会 |
| g. 教頭 | h. 教育水準 | i. 指導力 |

8

次の(1)～(3)は、法規の条文の一部である。下線部が正しければ○、誤りであれば正しいことばを記せ。

- (1) 学校は、当該学校におけるいじめの防止等に関する措置を計画的に行うため、当該学校の複数の教職員、心理、福祉等に関する専門的な知識を有する者その他の関係者により構成されるいじめの防止等の対策のための組織を置くものとする。

(いじめ防止対策推進法第22条)

- (2) 児童が心身の状況によつて履修することが困難な各教科は、その児童の心身の状況に適合するように課さなければならない。

(学校教育法施行規則第54条)

- (3) 学校においては、児童生徒等の安全の確保を図るため、当該学校の施設及び設備の安全整備、児童生徒等に対する通学を含めた学校生活その他の日常生活における安全に関する指導、職員の研修その他学校における安全に関する事項について計画を策定し、これを実施しなければならない。

(学校保健安全法第27条)

9

次の(1)～(3)は、法規の条文の一部である。法規名を下のa～iからそれぞれ一つ選び、記号で記せ。

- (1) 校長(学長を除く。)は、当該学校に在学する児童等について出席簿を作成しなければならない。
- (2) 学校においては、別に法律で定めるところにより、幼児、児童、生徒及び学生並びに職員の健康の保持増進を図るため、健康診断を行い、その他その保健に必要な措置を講じなければならない。
- (3) すべての職員は、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、且つ、職務の遂行に当っては、全力を挙げてこれに専念しなければならない。

a. 日本国憲法	b. 教育基本法	c. 学校教育法
d. 学校教育法施行令	e. 学校教育法施行規則	f. 地方公務員法
g. 教育公務員特例法	h. 社会教育法	i. 学校保健安全法

10

次は、生徒指導提要(平成22年3月、文部科学省)「第3章 児童生徒の心理と児童生徒理解 第1節 児童生徒理解の基本」の一部である。下の(1)～(3)に答えよ。

教科指導においても生徒指導においてもその他のどのような教育活動においても、教育実践が成果を上げるための大前提の一つは児童生徒理解です。なかでも生徒指導においては児童生徒理解そのものが(①)関係の成立を左右するといっても過言ではありません。人は理解してくれている人には安心して心を開きますが、理解してくれていない人に対しては拒否的になり、心を閉ざしたまま対応するものだからです。しかも生徒指導においては愛と信頼に基づく(①)関係が成立していなければその成果を上げることはできません。

そのため生徒指導においては共感的理解が求められるのです。児童生徒を共感的に理解するためには児童生徒について、また児童生徒の生育歴や環境などについて(②)的事実を知る必要があります。生徒指導はまず児童生徒理解から始まると言えるでしょう。

ところが、児童生徒一人一人を理解しようとするときに、最も困難な問題は、児童生徒がすべて個性的な存在であるということです。それぞれ独自の(③)を持ち、一人として同じ者はいません。すべての人の人格はその個性の上に成り立っています。生徒指導において、それぞれの児童生徒の人格を望ましい方向に形成させようとするときにも、それぞれの個性を生かし、個人の持つ(③)に従って進められなければなりません。

- (1) (①)にあてはまることばを、次のア～エから一つ選び、記号で記せ。なお、(①)には同じことばが入るものとする。

ア. 師弟	イ. 教育的	ウ. 人間	エ. 交友
-------	--------	-------	-------

(2) (②) にあてはまることばを，次のア～エから一つ選び，記号で記せ。

ア. 俯瞰	イ. 主観	ウ. 客観	エ. 普遍
-------	-------	-------	-------

(3) (③) にあてはまることばを，次のア～エから一つ選び，記号で記せ。なお，(③) には同じことばが入るものとする。

ア. 特徴	イ. 性格	ウ. 習慣	エ. 考え
-------	-------	-------	-------

11

次の(1)～(4)のア～エにあてはまることばや数をそれぞれ記せ。

- (1) 政府は，各府省庁に分かれていることも政策に関する総合調整権限を一本化するための新たな機関として，(ア) の設置を令和5年度のできる限り早期に目指している。
- (2) 令和3年6月，無形文化財（歴史上または芸術上の価値の高い「わざ」）の保存と活用を一層進めるため，文化財保護法が改正され，無形文化財の「登録」という新しい制度ができた。
この制度に基づき，12月2日に「(イ)」及び「伝統的酒造り」が初の登録無形文化財として登録された。
- (3) 沖縄県は令和4年5月15日に本土復帰(ウ)周年を迎えた。
- (4) 令和3年9月1日に発足したデジタル庁は，デジタル社会形成の司令塔として，未来志向のDXを大胆に推進し，デジタル時代の官民のインフラを今後5年で一気に作り上げることを目指している。DXとは，デジタル・(エ)の略称である。

12

次の文章を読み, (1) ~ (5) に答えよ。

※著作権法により掲載を省略します。

(1) 下線部 A～D のカタカナを漢字で記せ。(楷書で正確に書くこと)

(2) , に入ることばはそれぞれ何か。次のア～エから、組み合わせとして最も適当なものを一つ選び、記号で記せ。

- ア. a…しかし b…そして イ. a…しかし b…なぜなら
ウ. a…そして b…しかし エ. a…そして b…なぜなら

(3) とあるが、それはどのような理由からだと言っているか。次の文の c, d にあてはまることばを、c は11字で本文中から抜き出し、d は10字～15字で記せ。

誰も負けないということは、(c) ということであり、これにより (d) 社会となるから。

(4) とあるが、これを別の表現で同じように述べている部分を本文中から22字で探し、はじめの4字を記せ。

(5) この文章を通して、筆者が述べていることとしてあてはまらないものを、次のア～エから一つ選び、記号で記せ。

- ア. 通信革命が人間社会にもたらした変化は非常に大きく、人間関係の作られ方やあり方にも影響を及ぼしている。
イ. インターネットを通じたつながりは、ときに安心感をもたらすが、無条件に自分を守ってくれる家族的なつながりとは全く異なるものである。
ウ. 人類が家族を基本の単位とした社会を構築してきたのは、これまで人間がゴリラ的な価値観をもっていたからである。
エ. 現代の人間社会は、勝者をたたえるサルのな序列社会に突き進んでおり、上下関係における衝突が起こりやすくなっている。

13

次の文は、標準時についてまとめたものである。下の文中の①にあてはまる府県名を [I] の a～d から、②にあてはまることばを、[II] のア～エからそれぞれ一つ選び、記号で記せ。

世界の国々は、それぞれ基準になる経線(標準時子午線)を決めて、それに合わせた時刻を標準時として使っている。日本は、(①) 明石市を通る (②) の経線を基準にしている。

[I] a. 広島県 b. 兵庫県 c. 大阪府 d. 三重県

[II] ア. 西経105度 イ. 西経135度 ウ. 東経105度 エ. 東経135度

14

次の(1), (2)に答えよ。

- (1) 17世紀半ばのイギリスで、国王の専制政治に対し、クロムウェルらの議会派の人々が起こした革命を、次のア～ウから一つ選び、記号で記せ。

ア. フランス革命 イ.ピューリタン革命 ウ. 名誉革命

- (2) 1940年、ドイツに占領されたポーランドから逃げてきたユダヤ人に対して、ビザを発行し続けたリトアニアの日本領事代理であった人物の名前を、次のア～エから一つ選び、記号で記せ。

ア. 斎藤隆夫 イ. 後藤新平 ウ. 杉原千畝 エ. 新渡戸稲造

15

次の(1), (2)に答えよ。

- (1) 民法が改正され、令和4年4月1日から成年年齢が20歳から18歳に変更された。18歳に達するとできるようになる内容についての記述として誤っているものを、次のア～エから一つ選び、記号で記せ。

ア. 親の同意がなくても携帯電話の契約をすることができる。
イ. 大型・中型自動車の運転免許を取得することができる。
ウ. 10年有効のパスポートを取得することができる。
エ. 公認会計士の国家資格を取得することができる。

- (2) 次の文は、日本銀行の役割についてまとめたものである。文中の①, ②にあてはまることばを記せ。

世界の国々には、特別な働きをする中央銀行がそれぞれ設けられており、日本の中央銀行は日本銀行である。日本銀行は、日本銀行券とよばれる紙幣を発行する(①)銀行の役割や、政府が管理するお金が預金され、その出し入れを行う政府の銀行の役割を担っている。また、日本銀行は、一般の銀行に対するお金の貸し出しや、預金の受け入れを行う(②)の銀行でもある。

(3) A: I've got two tickets to the baseball game. Would you like to go with me?

B: When is it?

A: It's this Saturday afternoon at 1:00.

B: () Thanks anyway.

ア. How lucky! I tried very hard to buy a ticket.

イ. As a matter of fact, the game was really exciting.

ウ. What a pity! I have an appointment at the dentist.

エ. Honestly, I've always wanted to play baseball.

18

次の(1)～(3)の各英文の下線部とほぼ同じ意味をもつものを、下のア～エからそれぞれ一つ選び、記号で記せ。

(1) I should warn you in advance that I'm not a very good dancer.

ア. beforehand

イ. someday

ウ. later

エ. soon

(2) She refused a second piece of cake.

ア. turned up

イ. turned down

ウ. set up

エ. set down

(3) It was important to her what other people thought of her.

ア. happened

イ. came up

ウ. mattered

エ. looked up

19

次の(1), (2)に答えよ。

(1) π を円周率とする。

$|\pi - 3.14|$ の値として正しいものを、次のア～エから一つ選び、記号で記せ。
ただし、記号 $|a|$ は、実数 a の絶対値を表す。

ア. 0

イ. 0.14

ウ. $3.14 - \pi$

エ. $\pi - 3.14$

(2) 次の , にあてはまる数をそれぞれ記せ。

$\sqrt{6}$ の整数部分は2である。このことは、 $2^2 < 6 < 3^2$ となることからわかる。

同様に考えると $\sqrt{10}$ の整数部分は である。

さらに、 $\sqrt{10}$ の小数部分は $\sqrt{\text{イ}} - \text{ア}$ で表すことができる。

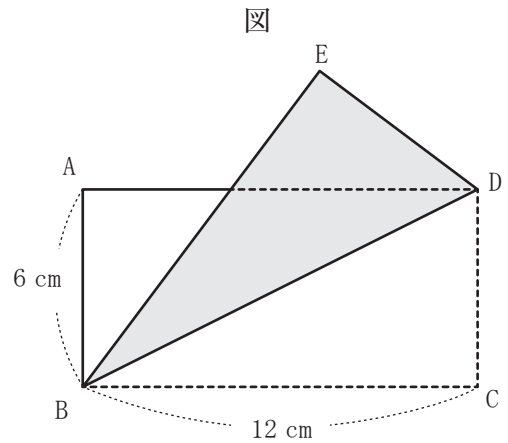
20

右の図のように、縦が6 cm、横が12 cmの長方形 ABCD の紙を、対角線 BD を折り目として折り返す。

このとき、次の (1), (2) に答えよ。

(1) $\triangle BDE$ の面積を求めよ。

(2) $\triangle BDE$ の3つの頂点を通る円の半径を求めよ。



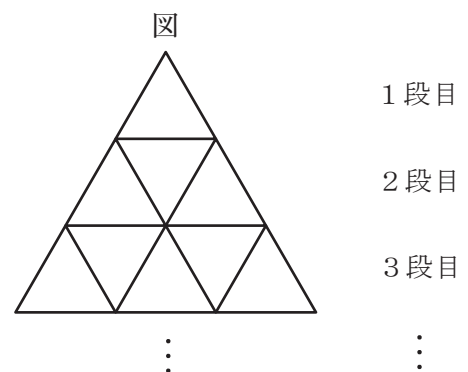
21

同じ大きさの正三角形の板が400枚ある。この正三角形の板を図のように1段目には1枚、2段目には3枚、3段目には5枚となるように、すき間なく重ならないようにしきつめて大きな正三角形を作っていく。

このとき、次の (1), (2) に答えよ。

(1) 5段目までしきつめるときに必要な正三角形の板の枚数を求めよ。

(2) 正三角形の板をすべてしきつめたとき、一番下の段に並ぶ正三角形の板の枚数を求めよ。



22

次の(1)～(4)に答えよ。

(1) 次の①, ②に答えよ。

- ① ひとみの大きさを変えて、目に入る光の量を調節する部分を何というか。次のア～エから一つ選び、記号で記せ。

ア. 虹彩

イ. 網膜

ウ. 角膜

エ. レンズ

- ② ヒトが息を吸うときの運動のしくみを説明したものとして正しいものを、次のア～エから一つ選び、記号で記せ。

ア. 横隔膜が上がるとともに、胸の筋肉によってろっ骨が引き上げられる。

イ. 横隔膜が下がるとともに、胸の筋肉によってろっ骨が引き上げられる。

ウ. 横隔膜が上がるとともに、胸の筋肉によってろっ骨が引き下げられる。

エ. 横隔膜が下がるとともに、胸の筋肉によってろっ骨が引き下げられる。

(2) 次の表は、日本付近の気団とその性質を示したものである。下の①, ②に答えよ。

表

	気団	性質
ア	オホーツク海気団	冷たく、湿っている
イ	シベリア気団	冷たく、乾燥している
ウ	小笠原気団	暖かく、湿っている
エ	揚子江気団	暖かく、乾燥している

- ① 冬に発達する気団はどれか。表のア～エから一つ選び、記号で記せ。

- ② 初夏の頃、ほぼ同じ勢力の二つの気団がぶつかりあうことで、梅雨前線は発生する。ぶつかりあう気団を、表のア～エから二つ選び、記号で記せ。

(3) 次の文中のア, イにあてはまることばをそれぞれ記せ。

音の高さは (ア) が多いほど高い音となり、音の大きさは (イ) が大きいほど大きい音となる。

(4) 次の図1, 図2は, 気体を集める方法を示したものである。下の①, ②に答えよ。



① 図1で示した気体を集める方法を何というか。次のア～ウから一つ選び, 記号で記せ。

ア. 水上置換法 イ. 上方置換法 ウ. 下方置換法

② 図2で示した方法で集める気体の性質を次のア～エからすべて選び, 記号で記せ。

ア. 空気より密度が小さく, 水にとけやすい。
イ. 空気より密度が小さく, 水にとげにくい。
ウ. 空気より密度が大きく, 水にとけやすい。
エ. 空気より密度が大きく, 水にとげにくい。

一般・教職教養 解答例

※

--	--

問題番号	解答	点	問題番号	解答	点	問題番号	解答	点
1	(1) b	1	9	(1) e	2	14	(1) イ	1
	(2) d	1		(2) c	2		(2) ウ	2
	(3) e	1		(3) f	2	15	(1) イ	2
2	ア e	1	10	(1) ① イ	1		(2) ① 発券 ② 銀行	2 <small>各1点</small>
	イ c	1		(2) ② ウ	1	16	[I] b	1
	ウ i	1		(3) ③ ア	1		[II] エ	1
3	(1) ウ	1	11	(1) ア こども家庭庁	1	17	(1) イ	2
	(2) イ	1		(2) イ 書道	1		(2) エ	2
	(3) オ	1		(3) ウ 50	1		(3) ウ	2
4	ア g	1		(4) エ トランスフォーメーション	1	18	(1) ア	2
	イ c	1	A 必需	1	(2) イ		2	
	ウ e	1	B 孤独	1	(3) ウ		2	
5	ア i	1	C 優劣	1	19	(1) エ	1	
	イ a	1	D 收拾	1		ア 3	1	
	ウ e	1	(2) ウ	2		イ 10	1	
6	ア 人間関係	2	12	誰 の こ と も	2	20	(1) 36 (cm ²)	2
	イ 見方・考え方	2		c 押し の け な ₁₀			(2) 3√5 (cm)	2
	ウ 実践的	2		い		21	(1) 25 (枚)	2
7	(1) ア f	1		(3) 全 員 が 対 等	2		(2) 39 (枚)	2
	(2) イ h	1	d な 関 係 で い ₁₀	22		① ア	1	
	(3) ウ a	1	ら れ る ₁₅			(1) ② イ	1	
8	(1) 実効的	2	(4) 平 等 よ り	1	(2) ① イ	1		
	(2) ○	2	(5) エ	1	② ア ウ	2 <small>完全解答</small>		
	(3) 点検	2	13	① b	1	ア 振動数(周波数)	2	
		② エ		1	イ 振幅		2	
						① ウ	1	
						② イ, エ	1 <small>完全解答</small>	